

戦争法廃止へ運動さらに

1/21
五旗

強行4カ月 「会」結成各地で

戦争法強行から4カ月がたちましたが、戦争法廃止、立憲主義を取り戻そう、という取り組みが地方で広がりを見せています。全国で取り組まれた「19日行動」に続いて20日には、岩手、山形、大分で戦争法廃止を求める組織や、そのための2000万署名推進の組織が発足しました。

2000万署名推進の会

「戦争法の廃止を求める全国2000万人統一署名運動を推進する岩手の会」(2000万署名推進の会)の結成会が盛岡市で開かれ、100人が参加しました。県内の有識者、地域9条の会や市民団体の代表など146人が結成の呼びかけ人に名を連ね、125団体



20万人の署名目標を決めた結成会(20日、盛岡市)

結成会では、当面の活動として▽各団体で署名に取り組み▽2月12日付の新聞に意見広告を掲載する▽2月21日に学習集会を行い、運動を促進する一とを確

山形でママの会

「安保関連法に反対する



会設立の報告をする菊地代表(中)と副代表の佐藤さん(左)と土田井(右)(20日、山形県庁記者室)

ママの会」やまがたが、山形県庁内で結成(昨年12月)記者会見を行いました。菊地若菜代表、佐藤裕副代表が出席し、会員の土田文字井護士が同席しました。

菊地代表は「私たちは安

保法の廃止をめざすという

名と学習を中心に活動する

大分県内の大学教員・元表(大分大学名誉教授)は「2000万署名や連署教員らでつくる『戦争法の廃止を求める学者の会・大分』は県庁内で記者会見し、会の発足と『戦争法の廃止と立憲主義の原則を守ることを求めるアピール』を発表しました。

大分で学者の会

大分県内の大学教員・元表(大分大学名誉教授)は「2000万署名や連署教員らでつくる『戦争法の廃止を求める学者の会・大分』は県庁内で記者会見し、会の発足と『戦争法の廃止と立憲主義の原則を守ることを求めるアピール』を発表しました。

一点で結ばれたもので、所属や支持政党は問いません。参院選挙で安保関連法に反対する議員を山形から送り出すために、あきらめることなく努力していきます」と述べました。

アピールは「来るべき国政選挙において安倍政治に厳しい審判を下すよう県民に強く訴える」としています。